

社会科（歴史的分野）学習指導案

日 時 平成26年10月15日（水）5校時

対象学級 2年A組（男子14名、女子13名、計27名）

場 所 2年A組教室

授 業 者 教諭 千葉 早依子

1 単元名 第4章 近世の日本（新しい社会 歴史 東京書籍） 第3節 産業の発達と幕府政治の動き

2 単元について

（1）教材観

本単元は16世紀から19世紀までの我が国の近世の特色を、世界の動きとの関連に着目して学習していく。大きく四つのまとまりとなっており、一つ目が世界史的内容、二つ目が織豊政権、三つ目が江戸幕府の成立とそのしくみ、そして、四つ目のまとまりが本節である。農業・諸産業の発達、都市の繁栄と町人の台頭の一方で、幕府財政が苦しくなり幕政の改革が度々行われるが、基本的には立て直せなかったこと、そして、幕藩体制の動揺に結びついていったこと、それは、新しい時代の到来を予感させる民衆のエネルギーの発露であることなどのまとまりである。

学習指導要領中学校社会科・歴史的分野の目標（4）には「身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味・関心を高め、様々な資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる」とある。本単元の本節については内容（4）のエで「社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを通して、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解させる」とあり、「内容の取扱い」（4）のエで「エの『幕府の政治改革』については、百姓一揆などに結びつく農村の変化や商業の発達などへの対応という観点から、代表的な事例を取り上げるようにすること」とある。教科書に書かれている中央（江戸）を中心とした歴史の流れだけではなく、生徒の生活の地である身近な地域の歴史と関わらせながら学習を進めることが求められている。

江戸後期の南部藩は石高が10万石から20万石に加増されたが、藩の対外的財政支出の増大から藩の経済が切迫していた。特に天保年間には冷害が相次ぎ、藩が経済に困って発行した「盛岡切手」（二年間のみ流通）がインフレを招きますます藩政を混乱させた。そのような中で天保7年・8年には学区も含まれる稗貫・和賀地域で大規模な百姓一揆が起こることになる。地域に実際に起きた百姓一揆の背景に迫ることで、江戸後期の社会の変化を捉えさせたい。

（2）生徒観

男女ともに、意欲的に学習に臨んでいる。4人グループでの学習形態を取り入れて学習を進めていることで、グループ内での教えあいや話し合い活動も自然に行える雰囲気ができている。一方で、理解力に差があり、理解の早い一部の生徒の直感的な挙手発言で授業が進んでしまう場面もある。

そこで、社会科としての問題解決的な学習展開の中で、提示する資料を吟味し、資料の共有化や学びの視点を与えることで、学級内のすべての生徒が学びに参加できるように配慮したいと考えている。特に歴史的分野では社会的事象の原因（「なぜ」そうなったのか）の考察に時間をかけ、記述させることで生徒の思考を促したい。

本学級の生徒の社会科に対する意識は以下の通りであり、授業への満足度は高いといえる。

【本校1学期まなびフェスの結果より】

※達成率:「A:はい」の割合+「B:どちらかと言えば、はい」の割合の合計

- ① 授業の内容がよくわかりましたか、よくできるようになりましたか。
2年A組 達成率 93% 5段階評価 4.4
- ② 授業への取り組みや学習態度は良かったですか。
2年A組 達成率 96% 5段階評価 4.5
- ③ 積極的に発言や発表をしましたか。
2年A組 達成率 93% 5段階評価 4.5

(3) 指導観

本単元・本節の学習を進めるにあたっては、まず、教科書及び資料集の資料を用いて、この時代の社会の動きや歴史的事象の背景の全体像をつかませたい。その際、授業の中心となる場面では記述に時間をとり、作業的な学習を通して問題解決を促したい。

江戸中期～後期には、幕府や諸藩の財政が困窮していくことにより幕政改革や藩政改革が行われる。都市では打ちこわし、農村では百姓一揆が頻発し、外国船の接近もあり、幕藩体制の動揺に結びついていく。しかし、この一連の流れを教科書資料中心に扱うだけでは、生徒にとってはあまり実感をともなったものにならない。そこで、この時代の地域（南部藩）の歴史を取り扱うことで、より実感をともなった理解につなげたいと考える。

学習指導要領中学校社会科・歴史的分野の内容(1)のイ「身近な地域の歴史を調べる活動を通して、地域への関心を高め、地域の具体的な事柄とのかかわりの中で我が国の歴史を理解させるとともに、受け継がれてきた伝統や文化への関心を高め、歴史の学び方を身に付けさせる」をうけて、「内容の取扱い」(1)のイには「地域の特性に応じた時代を取り上げるようにするとともに、人々の生活や生活に根ざした伝統や文化に着目した取扱いを工夫すること。その際、博物館、郷土資料館などの施設の活用や地域の人々の協力も考慮すること」とある。南部藩は江戸後期に百姓一揆が最も多く起きた藩である。また、天保8年の稗貫・和賀の百姓一揆は、藩境を越え、伊達領（仙台藩）に訴えを起こしたという南部藩で起きた百姓一揆の中でも特に大規模なものであった。単元のまとめにあたり、当時の人々の暮らしの困窮、南部藩の財政悪化が稗貫・和賀の百姓一揆につながっていったことを、花巻市博物館や地域の人材（稗貫・和賀の百姓一揆を語る会）の協力を得て収集した資料をもとに考えさせたい。江戸幕藩体制の揺らぎを、身近な地域にも目を向け、南部藩を揺るがした民衆の立場からとらえさせることによって、より身近なものとしてとらえさせたい。

3 本校の研究との関連

研究主題「主体的に学習に取り組む生徒の育成」

～学びあいを取り入れた授業改善の工夫～

授業における学びあい（小グループ活動）を中心に“分かる授業”を構築する。

- ① 活動の意欲化
 - ・皆が取り組める作業的な学びを提示することで、グループで資料を共有し、全員が意欲的に意見を出し合えるようにする。
- ② 資料活用
 - ・資料を活用して仲間の考えと比較させることで、見方・考え方の違いに気づかせ、さらに考えが深まるようにする。
- ③ 思考の言語化
 - ・根拠に基づく解釈や、相手に分かるように説明する学習を続けることで、思考を言葉で表現する力をつける。
- ④ 視点の明確化
 - ・何のために、何をするのか、活動の視点（学びあう課題）を明確にすることで、活動後の評価・指導につなげる。

4 単元の指導目標

- (1) 近世の歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に追究して、近世の特色を捉えようとする。
- (2) 近世の特色や歴史的事象について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する。
- (3) 近世に関して収集した様々な資料から有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりする。
- (4) 近世の特色などを世界の歴史を背景に理解し、その知識を身につける。

5 単元の評価規準

【社会的事象への関心・意欲・態度】

- ・近世社会の基礎や幕藩体制の確立、幕府政治の行き詰まりなど、近世の歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に追究し、近世の特色を捉えようとしている。

【社会的な思考・判断・表現】

- ・近世の歴史的事象から課題を見だし、近世の特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。

【資料活用の技能】

- ・年表や歴史地図、映像など近世に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。

【社会的事象についての知識・理解】

- ・幕府と藩による支配が確立したこと、町人文化が都市を中心に形成されたこと、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことなどを理解し、その知識を身につけている。

6 指導計画と評価規準

時間	学習内容	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
1	農業や諸産業の発達	江戸時代の産業の様子について関心を高め、意欲的にまとめている。			産業・交通の発達によって貨幣経済が進展し、財力をつけた町人の力が増していることを理解し、その知識を身につけている。
2	都市の繁栄と元禄文化		江戸時代に都市が発達した理由を、幕府や藩の政治のしくみ、物資の流通などから考察し、説明している。	文学作品や「見返り美人図」などから、元禄文化の特色を読み取っている。	
3	享保の改革と社会の変化		幕府の政治改革の影響について、幕府・諸藩・農民などの立場から多面的・多角的に考察し、適切に表現している。	「百姓一揆・打ちこわしの発生件数」から社会の様子と変化を説明できるなど、グラフを活用している。	
4	田沼の政治と寛政の改革		田沼意次の政治と松平定信の政治を比較し、改革の目的について考察し、説明している。		
5	新しい学問と化政文化		国学と蘭学の発達や化政文化の特色について調べ、新しい学問や文化が生まれた背景を考察している。	「藩校と寺子屋の広がり」をもとに全国に教育施設がつけられていったことを読み取っている。	
6	外国船の出現と天保の改革		大塩平八郎が乱を起こした理由や天保の改革の内容を調べ、幕府政治が行き詰まっていたことについて考察し、その過程や結果を説明している。		外国船の接近とそれに対する幕府の対応について、幕府に新たな課題が生じたことを理解し、その知識を身につけている。
7 本時	【地域の歴史】 百姓一揆を考える		農民の心情を考えると百姓一揆が起きた理由を考察し、適切に表現している。	資料から、百姓一揆が起きた原因や背景について読み取っている。	
8	【深めよう】 アイヌ民族の歴史	アイヌ民族の尊重のためにどうしたらよいか、積極的に考えようとしている。			古代からの北海道やアイヌ民族の歴史のあらましを理解し、その知識を身につけている。
9	章のまとめ				

7 本時の指導

(1) 本時の目標

- 江戸後期に南部藩（稗貫・和賀）で百姓一揆が起きていたことを資料から読み取ることができる。 【資料活用の技能】
- 南部藩（稗貫・和賀）で百姓一揆が起きた原因（自然災害、藩財政の悪化）を、資料から読み取り、百姓一揆を起さずにいられなかった農民の心情を考えることができる。 【思考・判断・表現】

(2) 展開案

段階	学習活動	・留意点 ◇評価	言語活動	学習形態
導 入 10分	1. 本時の方向性をつかむ	<ul style="list-style-type: none"> 資料（自主教材）を音読させる。 知っている地名を○で囲ませることで、身近なところで起こったことを捉えさせ意欲化につなげる。 	音読	4人G
	2. 学習課題を設定する	<ul style="list-style-type: none"> 提示資料から何が分かるか発表させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> (例) <ul style="list-style-type: none"> 南部藩で百姓一揆の発生件数が多い 稗貫・和賀で特に多く発生している </div> <ul style="list-style-type: none"> 資料の藩名を隠して提示し、南部藩は何番目に多かったのか当てさせることで、南部藩で百姓一揆が最も多く起きたことを印象づけたい。 		4人G
展 開	稗貫・和賀の農民はなぜ百姓一揆を起さなければならなかったのだろう。			
	3. 予想する	<ul style="list-style-type: none"> どんな資料があると解決できそうか、考えさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> (例) 当時のききんの発生件数 年貢（農民の負担） 南部藩の財政状態が分かる資料 南部藩の政策が分かる資料 </div>		
	4. 南部藩（稗貫・和賀）で百姓一揆が起きた原因や背景を読み取る	①自然災害（ききん） <ul style="list-style-type: none"> 共通資料をもとに、当時のききんの深刻さを読みとらせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 天保4年のききんでは7月末に霜が降りるほどの冷害になったこと </div> ②南部藩財政の悪化。 <ul style="list-style-type: none"> 資料を配布し、そこから読み取れることをミニホワイトボードにまとめ、黒板に掲示させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ◇グループで協力して資料を読み取り、原因や背景を考えることができたか。 <ul style="list-style-type: none"> 加増による軍役の倍増 藩札（盛岡切手）の発行 蝦夷地出兵 過酷な臨時税（重税） </div>	考察 話し合い 記述	一斉 4人G
5. 一揆の全容をとらえる	<ul style="list-style-type: none"> 自作資料から、一揆の要求書の内容、一揆の結末について確認する。 絵地図をもとに一揆軍が通った（結集した）ルート全体を確認する。 		一斉	

<p>展 開 35分</p>	<p>6. 訴えの内容をまとめる</p>	<p>・一揆の指導者になったつもりで、仙台藩へ訴えた内容をセリフで考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◇農民の心情を考えてセリフを考えることができたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活の困窮が分かるか。 ・自然災害や南部藩財政について触れているか。 <p>(例) 度重なるききんのため、私たち百姓は米が取れなくて困っています。しかし、南部藩はもっと米を出せといいます。私たちの手元に残っている米はありません。仙台藩の御役人様、私たちを助けてください。</p> </div>	<p>記述</p>	<p>4人G</p>
	<p>7. 交流する</p>	<p>・1～2グループに前に出て実演してもらおう。</p>	<p>発表</p>	<p>一斉</p>
<p>終 末 5分</p>	<p>8. 学習の振り返り</p>	<p>・課題に対するまとめと、本時の学習で感じたことを自分のことばでまとめさせる。(課題についてのまとめ・地域の歴史への自分の思い)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・江戸後期(天保年間)の南部藩は度重なるききんと、藩財政の悪化によって困窮していたため、農民の負担はますます大きくなり、生活が苦しくなって、一揆を起さなければならなかった。 ・笹間(太田)の人が一揆に参加していたなんて知らなかった。当時の人たちは大変だったなあと思った。農民の力ってすごいなあ。 </div>	<p>記述</p>	<p>個人</p>